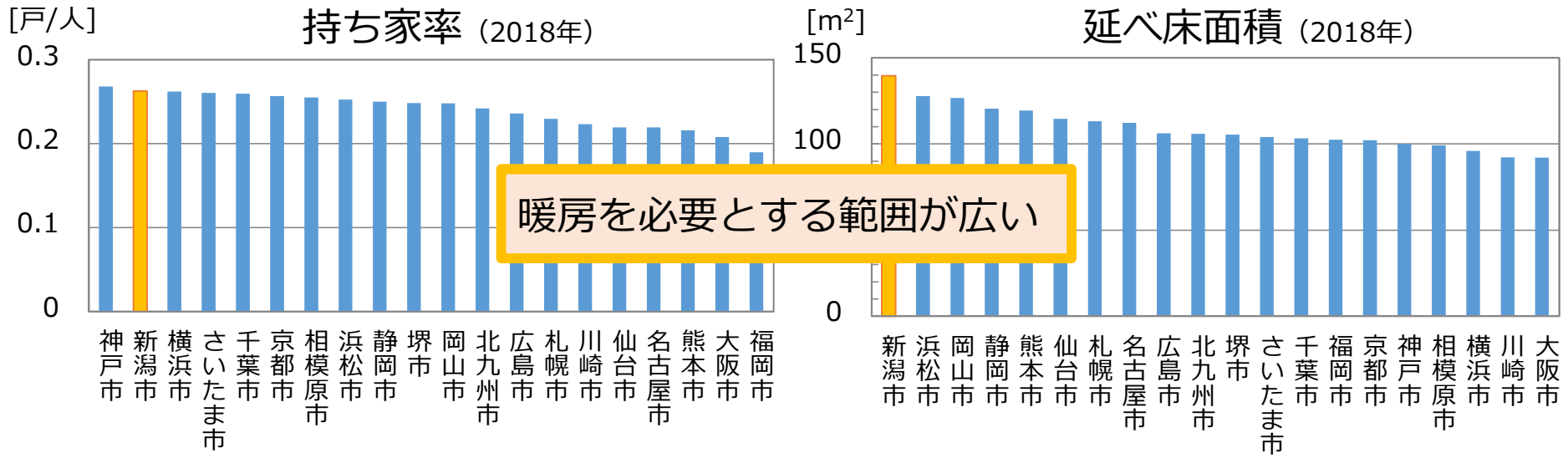


未来のために、いま選ぼう。

# 新潟市COOL CHOICE推進チーム 成果報告会

# 新潟市における住まいの現状



冬は気温が低く、

雪の降る日が多くなる



必要な部屋のみあたためる習慣

ストーブやこたつによる“採暖”の習慣

断熱材の性能や、熱のコントロール技術は向上しているのに・・・

**住宅内でも冬は寒いものという認識が根付いていると考えられる**

## 市民の「冬暖かい住宅を知らない」意識を転換することが必要

- ▶ **快適性、健康、家計への配慮、災害対策**といった副次的メリットとともに、2050年の脱炭素社会を見据えた住まいについて、ステークホルダー（推進チーム）で共有し、市民に訴求する
- ▶ **チーム一丸となって省エネ（高断熱）住宅・ZEHの普及を目指す**

市民・事業者双方の意識転換のため、対象を明確にした啓蒙の手法を実施主体別に検討

# チームメンバー

住宅 関係 事業者	H2O Design 一級建築事務所	代表 野本 優
	オーガニックスタジオ新潟 株式会社	代表取締役 相模 稔
	コウダイ企画室。	代表 小林 紘大
	株式会社 たかだ	代表取締役 高田 政俊
	株式会社ナレッジライフ	広報マネージャー 田中 直人
	ネイティブディメンションズ 一級建築士事務所	代表 鈴木 淳
	有限会社リョウ建築事務所	代表取締役 小林 良太
	千癒の家 株式会社 わいけ い住宅	代表取締役 中山 修
太陽光 発電 関係 事業	株式会社テクノナガイ	代表取締役 長井 裕三
	新潟エンパワーメント株式会 社	代表取締役 木村 義彦
	株式会社 パルコミュニケー ションズ	代表取締役社長 五十嵐 修


メディア	株式会社新潟放送BSN	テレビ営業部 部長代理 室賀 亮
	株式会社ユニークワン	コーポレート部 部長 吉田 陽介
	株式会社ジョイフルタウン	営業部 主任 中澤 慎吾
学校	新潟工業高校 建築科	2年 石月 凌雅
	〃	2年 金森 美響
	〃	2年 三富 彩花里
	〃	2年 八木 大介
	新津工業高校 建築部	教諭 樋口 正弘
	〃	2年 阿部 正人

オブ ザ バー	一般財団法人 にいがた住宅 センター	企画営業課 課長 幾野 義徳
	新潟県地球温暖化防止活動推 進センター	センター長 大川 剛史
	新潟県 県民生活・環境部 環境企画課 地球環境対策室	政策企画員 石山 央存 技師 中野 俊宏



**第1回 現状共有**

新潟市の温暖化対策の現状を共有



**第2回 理想の状態**

目指すべき理想像を共有し、アイデアを検討



**第3回 プロモーション策**

アイデアを具体化

# 第1回会議の様子

令和2年12月3日（木） 朱鷺メッセ

5



▲市長あいさつ ▼メンバーからの現状共有

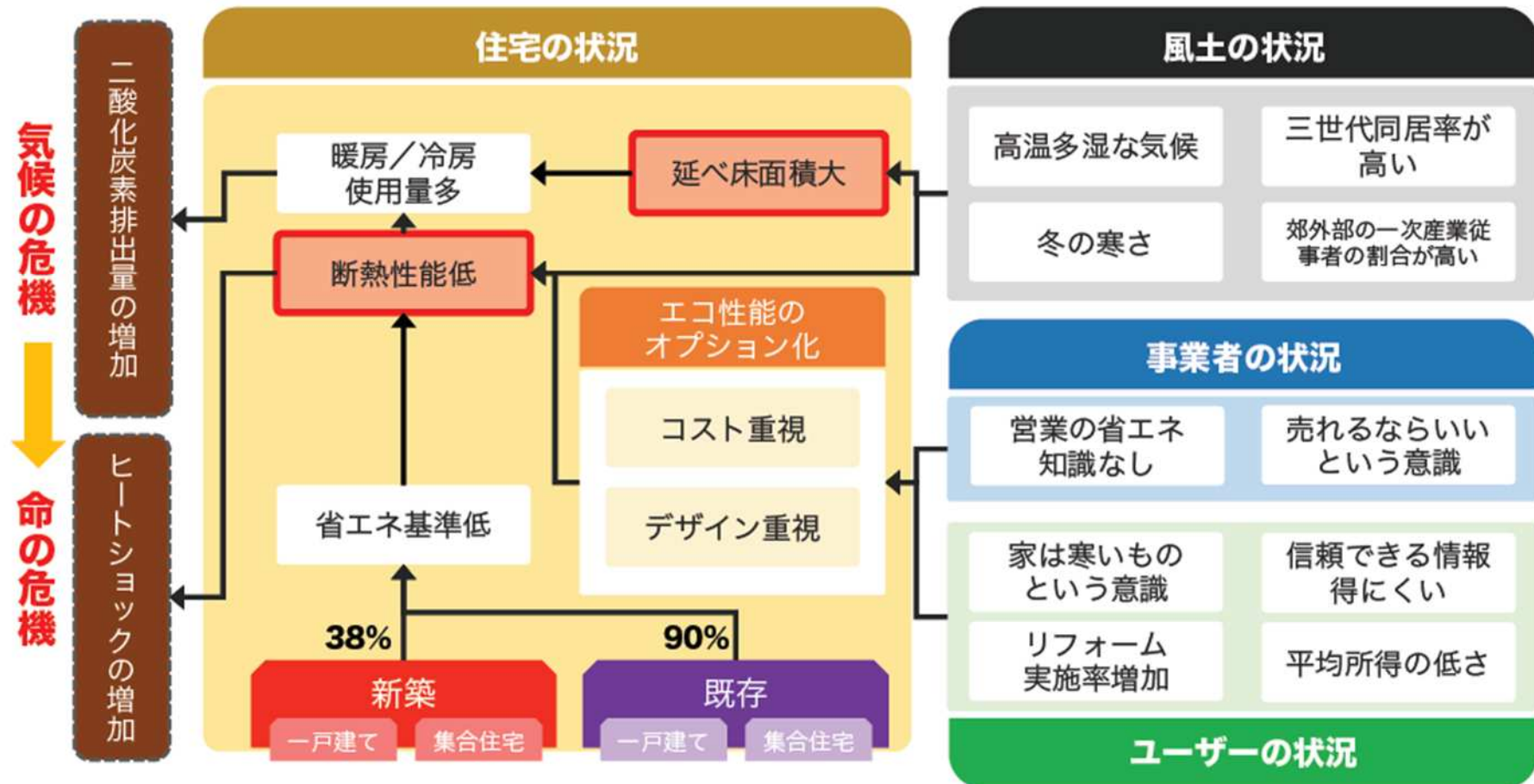


▲現状に対する感想をグループで共有 ▼全体共有





## 新潟市における住宅分野での二酸化炭素排出量を抑制できていない問題構造図 (案)



### 理想の状態

「ユーザーが新築やリフォームを検討するときに、気候危機や家族の健康を考える機会が得られ、自ら選択できるようになっている」

# 第2回会議の様子

令和2年12月16日（水） 朱鷺メッセ

7



▲1回目振り返り ▼アイデア出し、グループ共有



▲全体共有 ▼アイデアに投票

COOL CHOICE アイデア名: レンタルハウス 名義: 石月 凌雅

対象: 新築・既存 種別: 意識改革・制設/仕組み

具体的な内容: Who (誰が) When (いつ) Where (どこで) What (なにを) Why (なぜ) How (どうして)

高断熱住宅に宿泊体験を  
してもらい、高断熱を実感  
してもらう。

■	●	●	■	■
---	---	---	---	---





## 特に優先して実現する【アイデア】

意識改革

高断熱住宅の体験

意識改革

断熱DIY  
ワークショップ

意識改革

セミナー・相談会

制度・仕組み

ラベル・認証制度

# 第3回会議の様子

令和3年1月27日（水） 朱鷺メッセ

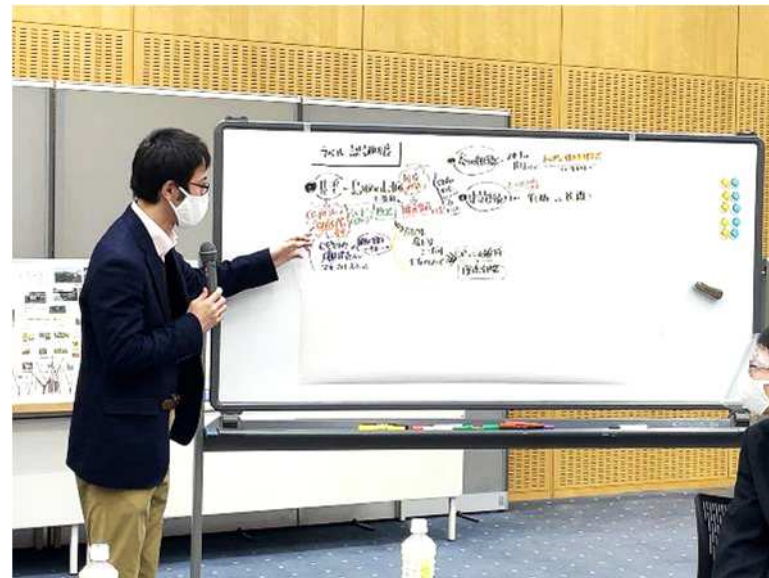
9

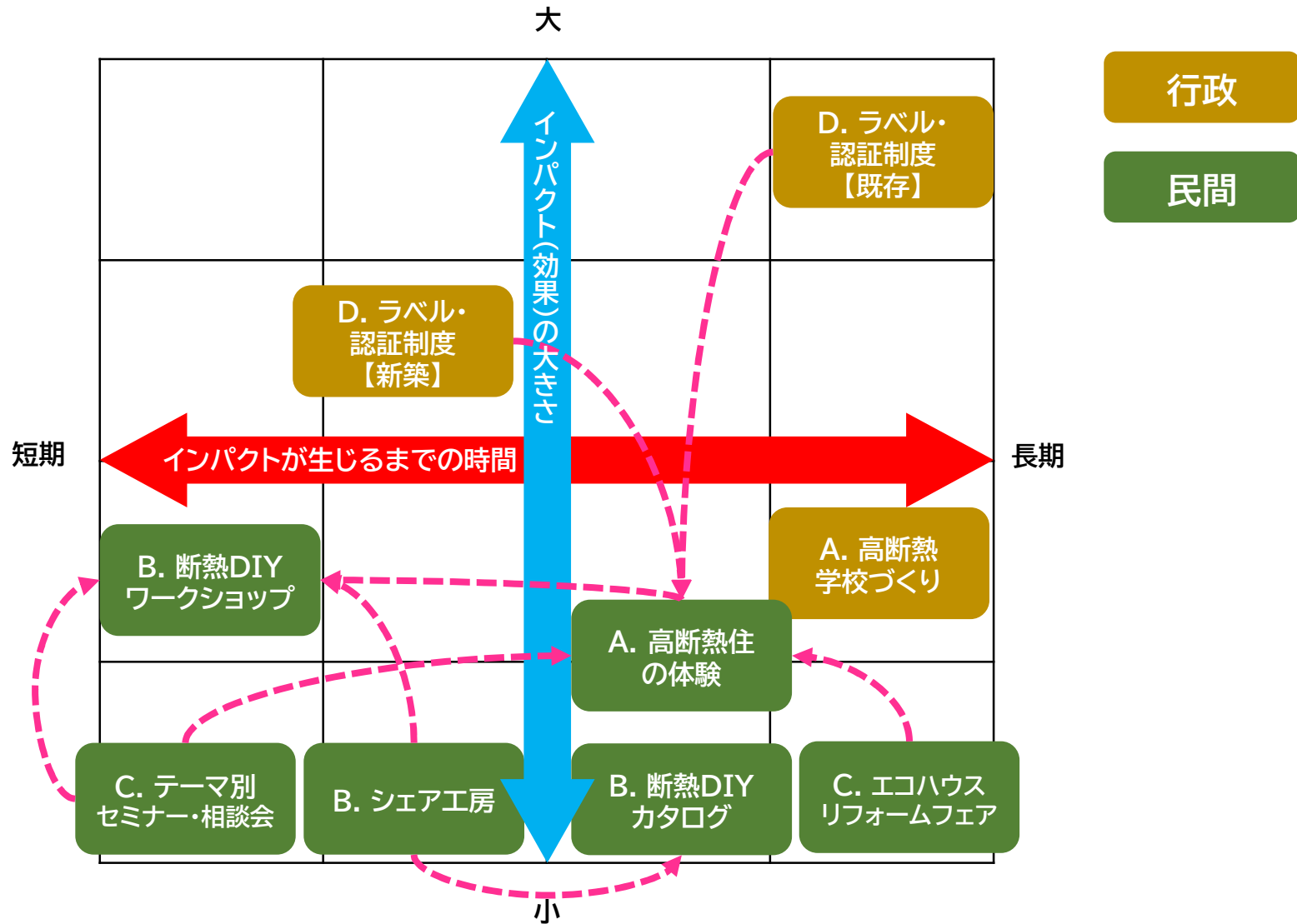


▲▼グループでアイデア検討・共有

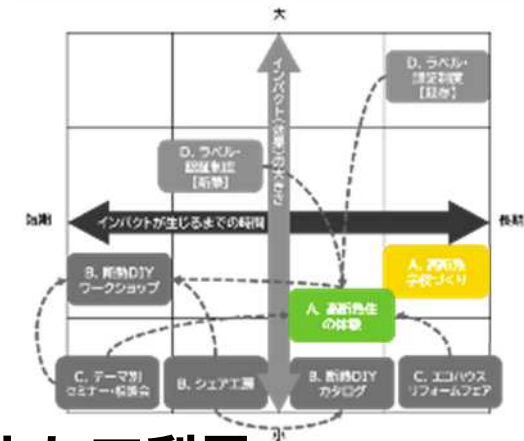


▼全体共有





「家の中でも冬は寒い」という意識を変えるため、高断熱・高気密化された住宅を体験することで、物理的に解消できる意識を醸成



- **民間のモデル住宅を集約し情報発信**
- **モデル住宅を見学会、宿泊やコミュニティスペースとして利用**
- **学校の高断熱化（高断熱学校づくり）により、子どもたちから暖かい建物を理解すること、親に伝えることで啓発につなげる**



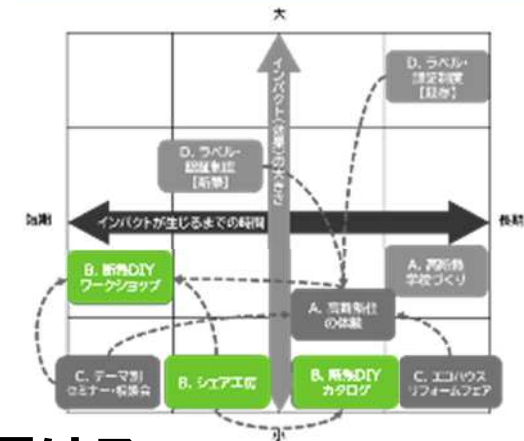
山形エコハウス見学の事例



紫波町エコハウス宿泊体験の事例



断熱化を体験することで、省エネ性能がオプションではなく、優先すべき基準であることを根付かせる

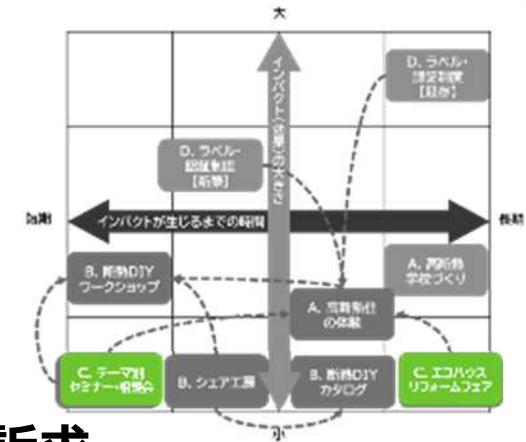


- 身近なシェア工房でDIYに取り組む人を増やす
- 事例を断熱DIYカタログとして整理し、多くの人に届ける
- ユーザーが新築やリフォームを検討するときに気候危機や家族の健康を考える機会が得られ、自ら選択できる

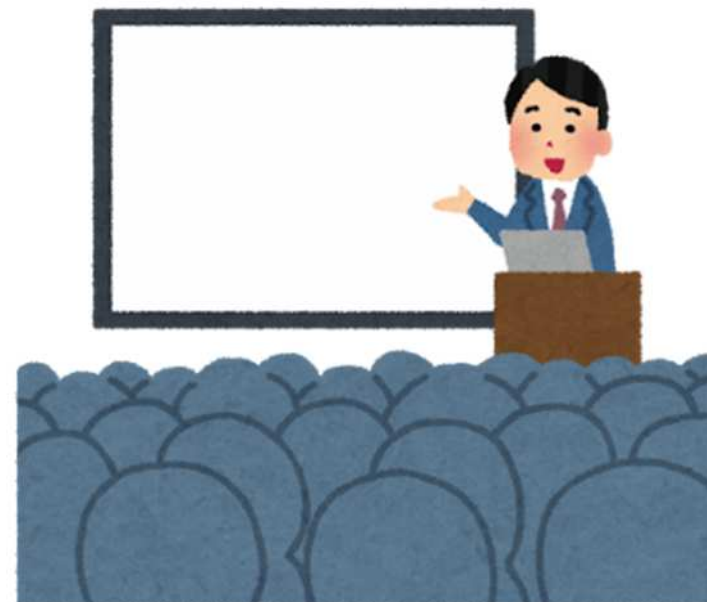




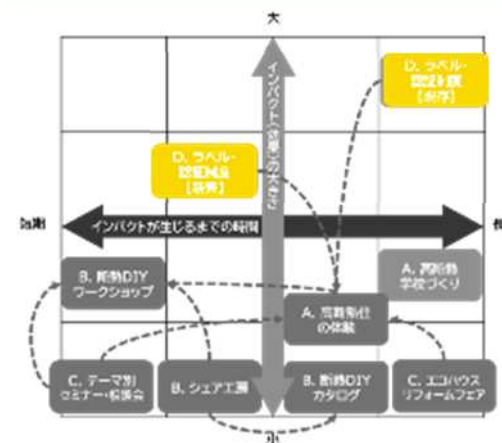
新築やリフォームを検討する人が、手軽に、身近に環境や健康に配慮した家を選ぶ際の情報を入手する機会を作る



- 新築やリフォームを検討しているターゲットに直接訴求
- 高断熱住宅の体験の周知も可能



環境・健康に配慮した住宅を施工する事業者を公的機関又は民間機関が認証することで、ユーザーが優良な選択をできるようにする仕組みを作る



## 鳥取県の事例

## とっとり健康省エネ住宅



### とっとり健康省エネ住宅とは

鳥取県では県民の健康の維持・増進、省エネ化の推進及びCO2の削減を図ることを目的として、戸建住宅を新築する際の県独自の省エネ住宅基準（[とっとり健康省エネ住宅性能基準](#)）を策定しました。

基準は断熱性能と気密性能について3段階のグレードを定めています。  
令和2年7月より基準を満たす住宅の認定と助成を開始します。

<参考> [技術研修資料（基準、事業者登録、認定、助成関連）](#)

区分	国の省エネ基準	ZEH (ゼッチ)	とっとり健康省エネ住宅性能基準		
			T-G1	T-G2	T-G3
備考	次世代基準 (H11年)	2020年標準 政府推進	冷暖房費を抑える ために必要な 最低限のレベル	経済的で快適 に生活できる 推奨レベル	優れた快適性 を有する 最高レベル
断熱性能 $U_A$ 値 [W/m <sup>2</sup> K]	0.87	0.60	0.48	0.34	0.23
気密性能 C値 [cm <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> ]	—	—	1.0	1.0	1.0
冷暖房費削減率	0%	約10%削減	約30%削減	約50%削減	約70%削減
住みいる上乗せ額	—	—	定額10万円	定額30万円	定額50万円
住みいる最大助成額	—	—	最大110万円	最大130万円	最大150万円
世界の省エネ 基準( $U_A$ 値)と の比較					

## 意識改革

チーム員が中心となって、環境省補助金の活用等により、実現を図る

## 制度・仕組

他都市の事例を参考として、市、チーム員を中心に協働により独自の制度検討の場を設ける

